

加佐の自然・魅力を伝えたい

加佐ふるさと塾 塾長 佐藤淳さん

汽水域が長く多様な生物が暮らす由良川、舞鶴市の最高峰ともいわれる宇野ヶ岳など、豊かな自然に囲まれた加佐地域。その魅力を発信し地域の活性化に取り組んでおられる加佐ふるさと塾の塾長で、森林インストラクターでもある佐藤淳さんにお話を伺いました。

加佐の魅力を伝える「ふるさと塾」

山歩きが趣味で森林インストラクターの資格を持つていたこともあり、「岡田上村おこし委員」に誘われました。そのまま塾活動にも参加し12年。村おこし活動には情熱が必要でないのなら私がやろうという思いで活動に参加しています。

加佐ふるさと塾は、加佐地域の「魅力の発信」「若者の定住化」「加佐地域の自然の良さ」をPRする運動組織。神崎、八雲、岡田上・中・下から委員を選出し30人の構成員で活動しています。8月に「川舟レース&子どもハゼ釣り大会」を実施し、11月には「義士の道ハイキング」を予定しています。

川舟は昔、水運に使われたり、由良川の洪水に備えたり、ほとんどの家で使われていました。今はそれを目にするのも少なく、舟を扱う技術や整備する文化が廃れていくのは惜しいと思います。川舟レースを始めました。このレースを続けることが橋を漕ぐ技術や舟の整備方法の伝承にもつながると思います。

しかし、川舟が老朽化し来年のレース開催も不安な状態です。川舟レースは皆さんの協力で続けてこられました。今後モレースの継続と技術の継承にご協力をお願いしたいと思っています。

また、赤穂浪士の寺坂吉衛門が通ったであろう古道を歩く「義士の道ハイキング」も実施しています。義士の道は、寺坂が大石内蔵助の妻に討ち入りの報告のために通った道。これを塾の活動に利用しようと地元の人に古道について尋ね、最初は義士の道整備ハイキングを行い今のコースができました。歩くことが主であった昔の人にとって古道は合理的な近道。加佐地域のほかにも舞鶴にはいろんな古道が縦横無尽に走っているんです。

川舟レースと義士の道ハイキングはイベントとして定着してきたと思います。今後、古道を再発見し整備していくことも塾活動の一方向きでもあると思っています。アウトドア派の団塊世代の人を取り込めるような古道を整備し、加佐や舞鶴の良いところを紹介できれば、塾の活動の原点である地域の活性化にもつながるのではないかと思います。まず、人が寄ってこれないと始まりません。今後もおもしろそうだと目を向けてくれる活動を目指し、川舟レースと義士の道ハイキングの2大イベントを継続しつつ、新たな加佐地域の良いところを発信していく組織でありたいと思っています。

由良川は生き物の宝庫

知っていますか。由良川は四国の四万十川に匹敵するくらい自然豊かで魅力のある川なのです。汽水域が長く神崎から12⁺離れた地頭でも海水魚の手又が釣れます。またハゼやボラ、淡水魚のアユ、手長エビなどいろんな生き物が住む川です。

舞鶴屈指の高い山、たくさんの生き物が暮らす川、そして海。森林インストラクターとしてもここは興味深い土地です。市内・外のほか、舞鶴を離れた人たちにも広く魅力を伝えたいと思っています。

編集後記

広報まいづるは、読みやすく分かりやすい紙面を目指し、先人の広報マンが築いた古き良き伝統を継承しつつ、時代の波に乗った構成を意識し作成しています。また、市民の皆さんの活動なども紹介できるよう編集室が一丸となってカメラとペンを両手に市内を走り回っています。まちで広報の腕章をした人を見かけたら声をかけてみてください。広報まいづるにあなたの写真が載るかもしれません（小谷）

